

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月14日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103094
法人名	有限会社 コウライメディカル
事業所名	グループホーム しらゆり
所在地	鹿児島市高麗町2-1-28 (電話) 099-251-6633
自己評価作成日	平成27年7月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年8月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近隣に中学校や専門学校があり、明るい笑い声が通りから聞こえてくる風通しの良い、明るい3階建ての施設です。この環境の中で入居者が互いに家族の一員として支え・協力し合い笑顔の絶えないグループホームづくりに、取り組んでいます。職員が一方的に支援するのではなく、入居者様と共に学び・ともに楽しみを持ち、季節ごとのイベントや誕生日など毎日が思い出につながるように頑張っております。

入居者の皆様やご家族の皆様にも相談しやすい関係づくりや、ホームの環境委づくりに努力をし、入居者の皆様が過ごしてこられた生活環や価値観を大事にし、不安なくホームでの生活が送れるように支援しています。

入居者様とのコミュニケーションを大事にするためにも職員間のコミュニケーションを大事に、笑い声が響くホームを常に心がけています。

一緒に洗濯物たたみや裁縫、踊りなど日々様々な事に取り組み、生きがいや楽しみが持てるようにつ努力しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは、中学校や専門学校が近隣にある住宅街にあり、母体病院や同法人の施設も歩いてすぐの場所にある。また、公園やコンビニも近くにある為、行事以外でも散歩や買い物等を通じて地域住民との交流を図っている。3階建ての鉄筋コンクリート作りで、1階には仏壇と日本人形、長寿を祝った利用者の写真等が飾られ、自宅での生活を感じさせる安らぎを与え、共用空間のリビングホールは、食堂や慰問、いきいき元気アップ事業の地域交流の場として活用されている。2階には3階の状況が把握できるようモニターが設置され、夜間の見守り強化を図っている。

○事業所理念であるしらゆりのように優しさに満ちた家庭的な施設作りに向けて、認知症ケアの支援方法を専門的に学び、身体拘束防止や虐待に関しては、定例会や研修、勉強会等で、スキルアップに努めている。個人情報や秘密保持等の取り扱いについても、コンプライアンスや職業倫理に基づき、プライバシーの侵害や人間としての尊厳が失われないよう取り組んでいる。

○24時間体制での主治医のフォローや看護スタッフからの医療提供、詳細な診療情報提供書によるメンタルクリニック等との医療連携を行っている。また、看取りに関しては、状態変化以外にも介護保険更新時に事業所方針を再度説明、確認する等、重度化や終末期に向けた取り組みを関係者と情報を共有しながら実践に向けて検討している。

○民生委員に第三者委員を委嘱することでのサービスの適正化、町内会をはじめとした地域住民参加による災害訓練の実施、警察や消防関係者の運営推進会議への協力要請によるリスクマネジメントの対応等も段階的に構築できている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ネームプレートやリビング・スタッフルームに提示し、定例会や朝の申し送りの都度唱和・話し合いを行い、ケアのスキルアップにつなげている。	施設理念にもとづき、「人としての尊厳を持った、生きがいのある暮らしの提供」を目標に、心身共に安心した生活環境の中で笑顔と安らぎのある生活を目指している。毎年4月に理念の見直しを行い、特に拘束と虐待防止に重点を置いて取り組んでいる。ネームプレートやリビングホールに理念を掲げ、定例会や朝の申し送りでの唱和等にて理念の共有化を図っている。いきいき元気度アップ事業での地域交流や地域活動を行う事で地域密着型サービスに求められる役割を果たしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加し、地域活動に参加を心がけている。また小学校の文化祭などの声掛けに参加させていただいている。散歩や外出時に近隣の方へのあいさつを心かけ、訪問しやすい環境づくりに努力している	商店街やコンビニへの買い物、同行散歩による近隣住民との交流、地域の夏祭りや文化祭への参加、サマーボランティア活動や中学生の職場体験、いきいき元気度アップ事業におけるサロン開催等、地域の一員として日常的に幅広く交流を深めている。また、町内会に加入し、今後、回覧板の取り扱いについても町内会長を通じ、参加協力する予定である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近隣の方々とのコミュニケーションを図り、様々な相談ができる関係づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議でいただいた助言や質問を議事録に記載し、職員会議や家族会での議題に掲げ、サービスや意識の向上につないでいる</p>	<p>地域包括・家族代表・民生委員・利用者等が参加し、事業所の現況や活動、外部評価報告等を行い、議題について活発な意見交換を行い、定例会を通じて業務改善を図っている。意見箱やアンケートによる意見や要望等の抽出や外出支援に関する方法を施設便りにて会議に参加出来ない関係者等にも広く説明する等、取り組みの方法も工夫している。今後は行事や運営推進会議への町内会の参加で地域の声に耳を傾け、警察や消防関係者の参加で施設環境に関する安全の確保に努められるように取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議の参加のお願いや疑問等は電話や訪問時にお聞きしている</p>	<p>運営推進会議への参加による助言、電話・窓口でのサービスについての相談対応、生活保護担当者による利用者の紹介、グループホーム連絡協議会の開催等、事業所と日頃から連携を図る事で実情に沿った対応に努めながら、協力体制を構築している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修や職員会議での勉強会を通じ、寝かせたきり・椅子に座らせたきりにならないよう配慮し、個々に添った安全・安楽な方法をその都度話し合いできるように努めている。個々の意思や身体状況を把握し、行動の制限や妨げになる事の無いように努めている。</p>	<p>身体拘束マニュアルを作成し、毎年研修会や勉強会を行い、必要に応じて毎週開催される職員会議（定例会）においても、玄関の施錠や声かけによる抑制を含めた身体拘束をしないケアについてすべての職員が正しく理解する取り組みを徹底し、利用者の意思や意向に踏まえ尊厳をもったサービス提供に努めるよう指導を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修や職員会議で議題にあげ、身体の虐待だけでなく言葉の虐待の無いように職員間でも注意し合える関係づくりをし、防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修や職員会議で勉強し、支援体制を整えられるように努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	見学や入居時に重要事項説明書の項目ごとに説明を行い、同意を得る。疑問や不安はその都度質問をお受けしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	各階に意見箱の設置。面会時や家族会で、独自のアンケートを無記名でお願いし、ご家族の意見や要望をお聞きしている。	各階のエレベーター前に意見箱を設置し、毎年、家族会にてアンケート調査を行っている。面会の際や行事毎の家族の意見、運営推進会議での要望・意向や意見交換、病院受診時の協力依頼、日常的な支援の中での関わりから感じられる訴え等、利用者、家族からの意見を申し送りノートにて共有し、定例会や朝のミーティングにて検討・改善している。外部者については、ホーム便り（通信）と薬情書、採血データを含む身体状況報告を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	毎週の職員会議や日々の業務の中意見交換を行い運営に反映できるようにしている。	<p>全体会議や定例会、朝のミーティング、夕方の申し送り、日常支援などのサービス・運営に関する職員の意見を聞く機会を多く設け、声かけを常に心がけながら、業務改善や物品購入、勤務変更等の対応を図っている。プライベートな個別相談も気軽にできるような職場環境作りに努めながら、職員のキャリアアップの為に研修会への参加依頼の協力へも随時対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	定期的に憧れる法人の関係者で報告や問題提起し、職場環境の見直しや整備・向上に努めている		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	施設内研修予定を毎年作成。外部研修の案内をし参加しやすい環境づくりをし、スキルアップに努めている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	土ふ法人系列のグループホームの管理者同士の会議を定期的に関催。また他施設の方々との情報交換を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様・本人様の事前面談でより多くの希望や不安・要望などお聞きし、本人様はもとよりご家族様が安心していただける様関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の面談を重ね、家族や本人の意向・思いをお聞きし、信頼関係を築き、職員間で共有することにより、より良い支援につなげていこうと努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様・家族の希望や意向を確認し、地域包括や福祉用具・民生委員に相談を行っている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食材の下ごしらえや洗濯物たたみ等、生活リハビリをできる範囲でしていただきながら、会話の時間を多く持つ事で時間の共有や協力し合える関係づくりの構築に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様の状況を月1回の通信で御家族に確認していただいている。また入居者様の要望や家族の相談等必要時に行い、他科受診や外出などに協力をいただいている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の訪問や外出支援、公民館での文化祭や近隣の夏祭りに参加、地域の子供みこしへの見学など生活習慣を継続できるよう支援に努めている	アセスメント等にて利用者の生活歴を把握し、馴染みの方々や特定の場所への関係性が途切れないよう、外出支援や訪問する機会を作り、知人・友人・家族等の来訪で地域社会との関係が失われないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席に配慮し、会話やコミュニケーションがとりやすいように配慮している。共通の会話やレクリエーションに参加することで孤立することの無いように配慮している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や退去された方やご家族にも面会や電話など行い、関係が途切れないよう配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時にはご家族・本人様より日常生活の様子や意向の聞き取りに努め、訪問マッサージや訪問歯科等定期的に受け、できる限り本人本位の対応をしている	サービスを提供する中で、利用者の思いや意向の把握に努め、申し送りノートを活用しながら、定例会やサービス担当者会議等にて方向性を検討し、意向や思いに沿った対応が図れるよう介護計画を作成している。意思疎通が困難な場合でも、モニタリングや家族からの協力を得て、本人の表情を確認しながら、心から望むサービス提供が実現出来るよう訪問マッサージや訪問歯科等の対応に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族より情報をえ、生活歴や趣味嗜好の情報を得、職員間で共有できるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の様子やリズムを知るため、申し送りの徹底や会議での情報交換を行い、本人のできる事を把握し支援に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意見・要望を伺い、本人が自分らしく生活ができるよう職員会議や、その都度内容の見直し・確認が計画作成に反映できるようにしている	利用者・家族の意向や希望を踏まえ、職員や主治医、看護師が身体面・精神面でのサービスに関する情報を共有化し、職員会議やサービス担当者会議を通じて、意見交換を行いながら、現状に応じたケアプランとなるよう、定期的なモニタリングや見直しをして作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個別記録で確認。申し送りや週1回の職員会議で、情報の共有や確認を行い、支援や計画の見直しに生かせるようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて病院受診や医療処置の付添に柔軟に対応を図っている。また食事にもその時々必要な形態に対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや学生の研修の受け入れ、民生委員との意見交換の機会を持ち、可能な限り地域での暮らしを楽しめるよう努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関連事業所の協力医だけでなく、メンタルクリニックの訪問診療を始め、歯科医の訪問等受けている。	本人・家族の希望に沿ってかかりつけ医を選定し、病院受診については、定期受診や他科受診を家族の協力を得ながら支援している。必要に応じて歯科やメンタルクリニックからの訪問診療、医療連携加算に基づいた訪問看護師からの医療提供サービスも実施している。受診後は家族へ電話等で報告をしている。かかりつけ医とホームドクターとは詳細な診療情報提供文書でのやり取りや電話連絡で連携をとり、24時間体制で適切な医療の充実が図れるように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	関係事業所の看護師や訪問看護との相談・助言をいただき、心身の変化の早期発見の務め、必要に応じた支援ができるように努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に必要に応じた情報の提供を行い、職員が面会に行くことで、安心して静養していただける様に努めている。またご家族にも連絡を密にとり、本人様の情報の共有を図っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	研修議題に挙げ職員の好きリアップを図り、入居時や家族会等で話し合う機会を持ち、相談を行うようにしている。プランの見直し時に確認を行うようにしている	看取りに関する実績はないが、重度化や終末期に向けた事業所方針を契約時に文書にて本人・家族に説明し、意向や希望を伺った上で同意を得ている。身体状況変化に伴う病院受診時、家族会での交流時、介護計画の更新時を利用し、本人・家族の意向・希望の再確認を行っている。事業所の支援と主治医・看護師の医療内容等の情報を常に共有することを心がけて関係者がチームとなり支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	関連医療機関の協力や研修を行い、事故発生・緊急時の対応を職員が同じレベルで行えるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災訓練を実施。消火器やエレベーターの点検を定期的に行い、訓練等は近隣にも声掛けを行っている</p>	<p>年2回、消防署の立会いで火災・地震・水害・台風を想定した防災訓練を実施している。避難経路の確保、避難場所の確認、消防機器の使用方法、自動通報装置や消防署・各関係機関への要請連絡方法、初期消火・避難・誘導の方法等、全職員が正しく身につけ、地域住民への協力体制も構築出来るよう取り組んでいる。備蓄や備品も完備され、スプリンクラーも設置している。また、AEDの講習や緊急時の対応についての研修・勉強会も開催している。自主訓練での事業所独自の災害対策に関する取り組みも今後展開される予定である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報・秘密保持の研修やミーティングを行い、意識向上を図り、プライバシーやプライドに配慮し、入浴や排泄の介助に必要時同性の職員が行うようにしている	人間としての尊厳を大切にした上で、個人情報や秘密保持等の取り扱いについては、マニュアルに基づき、研修会や定例会にてスキルアップに努めている。認知症ケアの正しい対応の理解のもと、入浴時や排泄時、電話連絡の際の報告時における注意やルームネームに至る確認等、利用者の日常生活に関するすべてにおいて、プライバシーや自尊心を侵害しないようなサービス提供に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や意思確認が押し付けや決めつけでなく「選択し」の提示など行い、可能な限り自己決定ができるように配慮している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体調に応じた就寝・起床時間。食事や入浴・昼寝等本人の希望にできる限り添えるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容室の利用で整髪・染毛もでき、化粧や爪のおしゃれも希望に応じて支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	旬の食材の利用や本人の嗜好を把握し、食材の下ごしらえや下膳等できる事をお手伝いいただくことで食への楽しみが出るように支援している	利用者の嗜好や希望に沿ったメニューで食事を提供している。利用者の身長・体重・栄養バランス・エネルギー量・形態・食事動作・アレルギー等を給食会議にて検討し、必要に応じて高カロリーの栄養補助食品を提供したり、訪問歯科診療や口腔体操にて総合的な食の安全に努めている。食材の下ごしらえや下膳の手伝い、食事を一緒に摂ったり、行事食や外食での刺身等、利用者が食事を楽しむことができる支援に努めている。		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	水分・食事量をチェック表を利用し、職員全員が把握しやすいようにしている。個々の嚥下や咀嚼状態に合わせた食事形態で提供できるようにしている			
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	毎食後の歯磨きの声掛け・介助を行っている。毎週の訪問歯科により、口腔状態が最適に保てるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録を利用し、便秘になる事の無いよう配慮している。オムツでも可能な範囲でトイレでの排泄に心がけている	排泄の自立支援に向け、オムツ使用の軽減が図られるよう日中のトイレ誘導を促し、なるべく夜間もポータブルトイレを使用する事でオムツに頼らない支援に努めている。緩下剤の使用ではあるが自然排泄が全利用者可能であり、失禁者への対応や排泄チェック表、ポータブルの保管についてもプライバシーを十分配慮した声かけ・対応に取り組んでいる。排便・排尿コントロールに努めながら、安心・安全なサービスの充実を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・排泄記録を利用し、メニューや食材、お茶などに今日慮し、対策を図っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	時間に囚われず希望に合わせ、仲の良い方同士の入浴や個人の好みのシャンプーを使用している	曜日や時間帯にとらわれない、利用者の希望に合わせた入浴サービスを提供している。身体状況に合わせて、軟膏塗布や清拭、部分浴等を行ったり、入浴拒否の利用者については、声かけとタイミングの工夫にて入浴提供に努めている。シャワーチェアへの購入や入浴剤使用にて入浴を安心して楽しめるように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活の様子やリズム・体調を把握し、休息の時間がいつでも取れるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病歴や薬の効能・種類・副作用・服薬方法を全職員が常に把握し、心身の状況に変化が認められた時には、記録に残歯医療機関との連携がはかれるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみや役割を持っていただくことで、生きがいや楽しみを持っていただける様に支援に努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	観覧機関の病院への物療や、同系列のホームでの合同行事に参加の外出で気分転換や季節感を感じていただける様にしている	花見や初詣、ドライブや散歩、買い物や病院受診、墓参り等利用者の希望に沿って日常的な外出支援が図れるよう家族の協力も得ながら取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族や本人と金額や管理方法について話し合い、本人様の安心感や満足感が得られるように配慮行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の使用時には職員が席をはずすなどプライバシーに配慮し、手紙代読や投かんを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の好みをを把握し、音楽やテレビまた、季節ごとの花や飾り・イベントで四季を感じていただいたり、動線の確保を行い安全な空間・居心地の良い共有スペースになうよう工夫している	共用空間は日当たりと風通しがよく、静かな環境である。共同スペースは、日本人形や仏壇が置かれ、自宅にいるような雰囲気を感じられ、渡り廊下やエレベーターの踊り場には、利用者の作品や季節感・生活感が感じられる飾り付けがなされ居心地よく過ごせる空間となっている。リビングホールは、慰問や地域交流の場として有効活用されている。夜間帯のモニターによる見守り、加湿器や除湿器、空調設備による室内環境の整備、トイレや浴室のスペース確保など様々な配慮がうかがわれる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仏間や神棚による心の安定する空間づくりや、テーブルや椅子が摂津され、家族との歓談や仲の良い方とゆっくり過ごせる空間づくりをしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様の使い慣れた家具や日用品をご家族に準備していただいたり、仏壇や家族の写真などを飾り、居心地の良い居室になるよう工夫している	居室は全室フローリングで、洗面所とピンクで統一された防災カーテンが居室を明るくさせ、低床でモーター付きの電動ベットが設置される事で、安全な移動動作が出来るように配慮している。馴染みのあるダンスや仏壇、写真、衣類ラック等、私物を家族と一緒にレイアウトする事で居心地よく過ごせる居室となるよう配慮に努めている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各入り口にネーム表示し、廊下やトイレには手すりが設置。身体状況に応じポータブルトイレや歩行器を家族や福祉用具業者と相談しながら自立に向けた生活が送れるように支援している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない